

第2次豊明市障害者福祉計画の進捗状況

平成22年度より、変更可能なものから「障害」の表記を「障がい」に変更しております。

平成22年4月の豊明市役所機構改革により、担当部署名が変更となったものについては、機構改革後の担当部署名を用いています。

1 福祉（共生）の心を育てます

施策・事業名	平成21年度の進捗状況	平成22年度の進捗状況	平成23年度の進捗状況	平成24年度の進捗状況	担当部署
親子福祉入門教室	<p>・冬休みボランティアスクール 日 時 平成21年12月24日(木) 25日(金) 10時～15時30分 場 所 特別養護老人ホーム 勅使苑 参加者 中学生 4名 ・施設内での作業の手伝いや、利用者との交流など様々な体験を通じて高齢者理解、思いやりの心を育てる活動ができた。</p> <p>・児童・生徒の福祉実践教室 日 時 平成21年6月～12月 場 所 市内小中学校 12校 科 目 全体講義(3科目)と体験(7科目) 講義：肢体不自由・視覚障害・聴覚障害 体験：車いす・点字・視覚障害者ガイド・手話・高齢者疑似体験・知的障害者理解・盲導犬体験 10年以上開催されている教室で、科目の増加、内容の充実、講師の検討などを図りながら進めることができた。</p> <p>・福祉教育ボランティア養成講座 内容 福祉実践教室の『高齢者疑似体験』・『視覚障害者ガイド』のボランティア養成 日時 平成22年1月16日(土) 10時～12時 場所 豊明市総合福祉会館 参加者 一般 7名 講師 ボランティア 13名 各学校での実践教室に出向くボランティアの増加を目的とした講座で、今年も増員することができた。</p>	<p>・実施せず</p> <p>・児童・生徒の福祉実践教室 目 的 児童・生徒が講師・ボランティアと共に学び交流することで、障害者や高齢者・様々な人たちと「ともに生きる」明るい社会を作っていく。 日 時 6月～11月 場 所 市内小中学校 12校 科 目 全体講義(3科目)と体験(7科目) 講義：肢体不自由・視覚障がい・聴覚障がい、手話、 体験：車いす、点字、視覚障がい者ガイド、高齢者疑似体験、知的・発達障がい理解、盲導犬体験 今年度より知的障がい者理解を改め、知的・発達障がい理解としてボランティアグループが発足した。結果、昨年度と比較して、より多くの学校での実施となった。</p> <p>・児童・青少年のボランティア体験 目 的 市内、中・高等学校の生徒を対象に社会福祉施設等でボランティア体験をすることにより、社会福祉の啓蒙と青少年の社会参加を促進。 日 時 8月 場 所 市内福祉施設 5施設 参加者 中学生39名・高校生2名 作業が中心のボランティア活動であったが、意欲的に取り組んでいた。</p>	<p>・実施せず</p> <p>・児童・生徒の福祉実践教室 目 的 児童・生徒が講師・ボランティアと共に学び交流することで、障害者や高齢者・様々な人たちと「ともに生きる」明るい社会を作っていく。 日 時 6月～11月 場 所 市内小中学校 12校 科 目 全体講義(3科目)と体験(7科目) 講義：肢体不自由・視覚障がい・聴覚障がい、手話、 体験：車いす、点字、視覚障がい者ガイド、高齢者疑似体験、知的・発達障がい理解、盲導犬体験 参加者 児童生徒延べ3,055名 今年度は知的・発達障がい理解を3中学校で実施することができた。</p> <p>・児童・青少年のボランティア体験 目 的 市内、中・高等学校の生徒を対象に社会福祉施設等でボランティア体験をすることにより、社会福祉の啓蒙と青少年の社会参加を促進。 日 時 8月 場 所 市内福祉施設 6施設 参加者 中学生76名(2中学校) 何回もボランティア体験に参加する中学生がいる一方、高校生の参加はなかった。</p>	<p>・実施せず</p> <p>・児童・生徒の福祉実践教室 目 的 児童・生徒が講師・ボランティアと共に学び交流することで、障害者や高齢者・様々な人たちと「ともに生きる」明るい社会を作っていく。 日 時 5月～11月 場 所 市内小中学校 12校 科 目 全体講義(3科目)と体験(7科目) 講義：肢体不自由・視覚障がい・聴覚障がい、 体験：車いす、点字、視覚障がい者ガイド、高齢者疑似体験、知的・発達障がい理解、盲導犬体験 参加者 児童生徒延べ3,007名 体験の内容を教諭と講師、ボランティアが事前に十分打合せをし取り組むことができた。</p> <p>・児童・青少年のボランティア体験 目 的 市内、中・高等学校の生徒を対象に社会福祉施設等でボランティア体験をすることにより、社会福祉の啓蒙と青少年の社会参加を促進。 日 時 8月 場 所 市内福祉施設(6施設)、どんぐり学園、JAあいち尾東豊明たすけあいやきの会、グループホームひびきの家豊明ホーム 参加者 中学生155名(3中学校) 今年度は3中学校がボランティア体験に参加した。</p>	社会福祉協議会

<p>地域支援者の育成・理解の促進</p>	<p>・実施せず</p>	<p>・実施せず</p>	<p>・視覚障がい者ガイド・高齢者疑似体験（1日体験） 目的 体験を通して、「見えないこと、年をとること」の理解をすすめるとともに、福祉教育ボランティアの協力を得る。 日時 3月2日（金）10時～12時 視覚障がい者ガイド体験 3月5日（月）10時～12時 高齢者疑似体験 場所 市総合福祉会館 協力者 福祉教育ボランティア高齢者疑似体験グループ プチトマト 会員 視覚障がい者ガイド個人ボランティア</p> <p>・防災訓練での車いすによる避難の誘導（二村台4区） 日時 11月13日（日） 9時～12時30分 場所 森裏公園 参加者 二村台4区民 豊明中学校ボランティア 協力者 ボランティアグループ 「天晴煦弥」2名 （福祉実践教室での車いすサポーター） ボランティアによる、車イスの取扱説明・注意事項等を説明。車イスによる避難誘導（森裏公園 双峰小学校）を実施。</p>	<p>・視覚障がい者ガイド（1日体験） 目的 体験を通して、「見えないこと、年をとること」の理解をすすめるとともに、福祉教育ボランティアの協力を得る。 日時 2月18日（月）10時～12時 （予定） 視覚障がい者ガイド体験 場所 市総合福祉会館 協力者 視覚障がい者ガイド個人ボランティア</p> <p>・盲導犬体験講座（予定） 日時 3月7日（木） 午前10時から正午まで 場所 市総合福祉会館</p>	<p>社会福祉協議会</p>
<p>精神保健についての啓発活動</p>	<p>・尾張東部地域こころの健康フェスティバル開催 日程 10月24日 会場 豊明市文化会館 内容 映画「ふるさとをください」等</p> <p>・民生児童委員を対象とした うつ・自殺対策研修会開催 日程 8月3日、1月15日</p> <p>・精神障害者のボランティア・精神障害者の家族は合同で会合を行うとともに医療機関や地域で開催される啓発イベントに積極的に参加した。</p>	<p>・こころの健康フェスティバルあいち開催 日程 10月24日 会場 日進市市民会館 内容 講演「生きる力をつけるための処方箋」等 講師 香山リカ氏 豊明市民生児童委員22名参加。</p> <p>・精神障がい者の家族会は定例会を開催し、医療機関や地域で開催される啓発イベントにも参加した。</p>	<p>・今年度からこころの健康フェスティバルを当事者交流会に改め実施。 日程 10月21日 参加者 スタッフ含め94名 普段は交流のない当事者や関係者同士の交流の場となった。</p> <p>・精神障がい者の家族会は定例会を開催し、医療機関や地域で開催される啓発イベントにも参加した。</p>	<p>・当事者交流会を1回実施。 日程 10月24日 参加者 スタッフ含め101名 当事者が企画から参加することにより、当事者の意見や想いを反映した開催となった。（関係機関の代表者及び当事者による実行委員会で開催）</p> <p>・精神障がい者の家族会は定例会を開催し、医療機関や地域で開催される啓発イベントにも参加した。</p>	<p>瀬戸保健所 社会福祉課</p>
<p>市民・当事者参加の計画の推進</p>	<p>・実施せず</p>	<p>・相談支援センター「フィット」の開設記念講演会を開催 日程 9月15日 内容 公演「好きなまちに住みたい」 講師 山田優氏 参加 200名 障がい者の自立支援を市民や当事者・関係者に呼びかけた。</p>	<p>・第3期障害福祉計画策定にあたり、障害者団体等にヒアリングを実施。パブリックコメントの募集も行った。</p>	<p>・実施せず</p>	<p>社会福祉課</p>

2 地域で暮らせる生活支援・生活環境づくりを進めます

施策・事業名	平成21年度進捗状況	平成22年度進捗状況	平成23年度の進捗状況	平成24年度の進捗状況	担当部署
夜間の生活支援（グループホーム・ケアホーム）	<ul style="list-style-type: none"> 1月18日に井ノ花ホーム（定員7名）が設置される。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規のグループホーム・ケアホームの設置はなく、「みさき館」「井ノ花ホーム」「なごむつどう」の3施設である。精神障がい者については、医療法人経営による共同住居が増えてきており、夜間の生活支援につながっている。 相談支援事業を強化し、豊明市の精神障がい者の退院促進と生活支援をすすめている。 県委託の社会復帰促進事業を22・23年度の2カ年にわたって日進市の相談支援事業所 希望が実施。豊明市の精神障がい者の退院促進と生活支援をすすめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉ホームB型「らくらく」「援護寮豊明」が障害者自立支援法へ制度移行したため、グループホーム・ケアホームの開設となった。これにより、市内のグループホーム・ケアホームは5施設となった。 相談支援事業を強化し、豊明市の精神障がい者の退院促進と生活支援をすすめている。 県委託の社会復帰促進事業を22・23年度の2カ年にわたって日進市の相談支援事業所 希望が実施。豊明市の精神障がい者の退院促進と生活支援をすすめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉ホームB型「らくらく」「援護寮豊明」が障害者自立支援法へ制度移行したため、グループホーム・ケアホームの開設となった。これにより、市内のグループホーム・ケアホームは5施設となった。 相談支援事業を強化し、豊明市の精神障がい者の退院促進と生活支援をすすめている。 県委託の社会復帰促進事業は終了し、自立支援法の個別給付で実施。保健所は必要に応じてコーディネートを行うが、平成24年度は該当者なし。 個別給付となった地域移行支援事業を利用し、精神科病院長期入院ケースが1名ケアホームに退院した。 	<p>社会福祉課</p> <p>瀬戸保健所</p> <p>社会福祉課</p>
障害者自立生活体験プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 豊明福祉会の共同生活体験事業は宿泊体験事業と名称変更し、2泊3日の体験事業を26人が体験した。 芸術・ダンス・料理のサークル活動も継続し、文化会館や市役所で作品展示や発表会を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊明福祉会の宿泊体験事業は中止となったが、将来の自立を想定した生活体験を希望する声には、その都度、豊明福祉会で個別の勉強会を開催した。 知的障がい者の芸術・ダンス・料理のサークル活動も継続し、文化会館や市役所で作品展示や発表会を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊明福祉会の宿泊体験事業は中止となったが、将来の自立を想定した生活体験を希望する声には、その都度、豊明福祉会で個別の勉強会を開催した。 知的障がい者の芸術・ダンス・料理のサークル活動も継続し、文化会館や市役所で作品展示や発表会を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊明福祉会の宿泊体験事業は中止となったが、将来の自立を想定し4月から井ノ花ホームにてホームの利用体験の要素も併せ日中一時支援事業を実施している。 知的障がい者のサークル活動は日中一時支援事業「まるまる」として継続。作品発表の場として1月末に第1回障害者（児）作品展を開催した。 	<p>社会福祉課</p>
夜間の生活支援（旧入所更生施設設置）	<ul style="list-style-type: none"> 施設入所者や精神病院の入院患者の地域移行に伴い、ケアホームに入居したり、出身世帯に戻ったりしたケースがあり、居宅介護や通所施設を利用することが増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設入所者や精神病院の入院患者の地域移行に伴い、ケアホームに入居したり、出身世帯に戻ったりしたケースがあるほか、単身でも居宅介護や通所施設を利用して生活することが増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設入所者や精神病院の入院患者の地域移行に伴い、ケアホームに入居したり、出身世帯に戻ったりしたケースがあるほか、単身でも居宅介護や通所施設を利用して生活することが増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設入所者や精神病院の入院患者の地域移行に伴い、ケアホームに入居したり、出身世帯に戻ったりしたケースがあるほか、単身でも居宅介護や通所施設を利用して生活することが増えている。 	<p>社会福祉課</p>
ホームヘルプ事業	<ul style="list-style-type: none"> 豊明福祉会のホームヘルプ事業は10名程度の利用であるが、市外の事業所の利用も含め、全体的には大幅な利用増となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内に新規のホームヘルプ事業所が開設となり「ファイン」「幸せ」「豊明市社会福祉協議会」「ニチイ豊明」の4事業所となった。 障がい種別に関らず、多様なホームヘルプサービスの利用が増えてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内のホームヘルプ事業所は4か所となった。 障がい種別に関らず、多様なホームヘルプサービスの利用が増えてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内のホームヘルプ事業所は4か所となった。市外の事業所の利用も含め利用は増加傾向にある。 障がい種別に関らず、多様なホームヘルプサービスの利用が増えてきている。 重度訪問介護を利用し在宅生活を希望する重度障がい者が、少数だが増えつつある。 	<p>社会福祉課</p>

3 安心して暮らせる保健・医療を充実します

施策・事業名	平成21年度進捗状況	平成22年度進捗状況	平成23年度の進捗状況	平成24年度の進捗状況	担当部署
自立支援医療	・自立支援医療(更生医療)は微増であるが、自立支援医療(精神通院)は非常に増えている。	・自立支援医療(更生医療)は微増であるが、自立支援医療(精神通院)は非常に増えている。	・自立支援医療(更生医療)は微増であるが、自立支援医療(精神通院)は非常に増えている。	・自立支援医療(更生医療)は微増であるが、自立支援医療(精神通院)は非常に増えている。	社会福祉課
精神保健福祉相談	・精神科の医師による定期相談は8件。	・精神科の医師による定期相談は4件だが、社会福祉課窓口や相談支援センター「フィット」への相談は増えている。 ・瀬戸保健所における医師相談は8回実施。豊明市より1名利用。保健所における豊明市民の相談は述べ88件。	・精神科の医師による定期相談は5件だが、社会福祉課窓口や相談支援センター「フィット」への相談は増えている。 ・瀬戸保健所における医師相談は5回実施。保健所における豊明市民の相談は12月末現在で89件。	・精神科の医師による定期相談は6件(見込み)だが、社会福祉課窓口や相談支援センター「フィット」への相談は増えている。 ・瀬戸保健所における医師相談は12月末現在で3回実施。保健所における豊明市民の相談は12月末現在で66件。	社会福祉課 瀬戸保健所
心身障害者(児) 歯科保健指導	・心身障がい者(児) 歯科保健指導 目的 歯科診療を受ける事が困難な障がい者(児)に対し、歯科検診や歯科相談、または、歯磨き指導を行い、正しい歯の健康管理の知識を理解していただく。 日時 6月18日(木)13時半~16時 6月25日(木)13時半~16時 会場 豊明福祉会メイツ・フレンズ 参加者 30名、29名 日時 10月18日(日) 9時半~11時半 会場 豊明市総合福祉会館 参加者 19名 一般参加者が少ないことが課題。	・心身障がい者(児) 歯科保健指導 目的 歯科診療を受ける事が困難な障がい者(児)に対し、歯科検診や歯科相談、または、歯磨き指導を行い、正しい歯の健康管理の知識を理解していただく。 日時 6月3日(木)13時半~16時 6月17日(木)13時半~16時 会場 豊明福祉会メイツ・フレンズ 参加者 34名、32名 日時 10月24日(日) 9時半~11時半 会場 豊明市総合福祉会館 参加者 11名 障がい者の市内歯科医院利用に関するニーズ把握まではできていない。	・心身障がい者(児) 歯科保健指導 目的 歯科診療を受ける事が困難な障がい者(児)に対し、歯科検診や歯科相談、または、歯磨き指導を行い、正しい歯の健康管理の知識を理解していただく。 日時 6月15日(木)13時半~16時 6月30日(木)13時半~16時 会場 豊明福祉会メイツ・フレンズ 日時 10月24日(日) 9時半~11時半 会場 豊明市総合福祉会館 参加者 5名 参加者減少傾向にあるが、当初の目的はある程度達成され、歯科保健の充足により事業ニーズ自体が低くなってきていると考えられる。	・心身障害者(児) 歯科保健指導 目的 歯科診療を受ける事が困難な障がい者(児)に対し、歯科検診や歯科相談、または、歯磨き指導を行い、正しい歯の健康管理の知識を理解していただく。 日時 6月21日(木)13時半~16時 7月19日(木)13時半~16時 会場 豊明福祉会 参加者 59名 日時 10月24日(日) 9時半~11時半 会場 豊明市総合福祉会館 参加者 12名 当初の対象者への目的の達成、障害児の義務教育化により学校検診を受けているなど事業ニーズ自体が低くなっていると考えられる。	社会福祉協議会

4 保育・教育・児童育成を充実します

施策・事業名	平成21年度進捗状況	平成22年度進捗状況	平成23年度の進捗状況	平成24年度の進捗状況	担当部署
なかよし教室	・実人数39組 延参加180組 平成22年1月現在。	・実人数45組 延参加182組 平成23年1月末現在。	・実人数50組 延参加234組 平成23年1月末現在。	・実人数51組 延参加255組 平成24年1月末現在。	医療健康課
心身障害児小規模通園施設「どんぐり学園」の充実	・平成22年1月末現在20名が利用(定員20名)	・平成23年1月末現在20名が利用(定員20名)。	・平成24年1月末現在19名が利用(定員20名)。	・平成25年1月末現在20名/日が利用(登録園児数28名)	児童福祉課
障害児保育	・愛知県コロニー主催の地域療育等支援事業は、館保育園にて2回、二村台保育園にて1回実施し、37名の保育士等が参加した。 また、あいち発達障害者支援センターの職員を講師に招き、「発達障害の主な特徴とかかわりの手立て」などをテーマに研修を2回開催した。	・愛知県コロニー主催の地域療育等支援事業は、西部保育園、沓掛保育園にて各1回実施し、28名の保育士等が参加した。	・愛知県コロニー主催の地域療育等支援事業は、中部保育園、栄保育園にて各1回実施し、35名の保育士等が参加した。	・愛知県コロニー主催の地域療育等支援事業は、青い鳥保育園、中部保育園にて各1回実施し、40名の保育士等が参加した。経年的に市内公立保育園全園の保育士等を対象にスキルアップ研修として実施。統合保育の質を高めた。	児童福祉課
就学指導	・特別支援コーディネーターを中心に個々のニーズに応じた支援を実施。特別支援教育支援員を12名に増員し、各小中学校に1名ずつ配置。更に緊急雇用で4月に1名、10月から7名を増員するなど支援体制を強化した。	・特別支援コーディネーターを中心に個々のニーズに応じた支援を実施。特別支援教育支援員を4月から緊急雇用で各小中学校に1名ずつ計9名、7月から4名増員し、支援体制を強化した。	・特別支援コーディネーターを中心に個々のニーズに応じた支援を実施。特別支援教育支援員は市単独12名と緊急雇用創出事業16名計28名体制で各小中学校に配置した。	・特別支援コーディネーターを中心に個々のニーズに応じた支援を実施。特別支援教育支援員は緊急雇用創出事業が終了したが市単独で28名配置を維持した。	学校教育課
特別支援学級の設置	・市立小学校15クラス(9校) ・市立中学校4クラス(3校)	・市立小学校15クラス(9校) ・市立中学校5クラス(3校)	・市立小学校17クラス(9校) ・市立中学校5クラス(3校)	・市立小学校18クラス(9校) ・市立中学校5クラス(3校)	学校教育課
スクールカウンセラー	・3中学校、小学校1校に配置	・昨年度まで3中学校、小学校1校に配置。今年度から小学校1名増員、市のスクールカウンセラーを1名配置。	・栄小学校と三崎小学校に各1名県配置、中学校は各校とも1名県配置、フレンドひまわりに1名配置(市)。	・県事業で全中学校と2小学校に配置。市では適応指導教室「フレンドひまわり」に1名配置し、教育電話相談の対応をした。	学校教育課

5 障害者の雇用・就労・居場所づくりを促進します

施策・事業名	平成21年度進捗状況	平成22年度進捗状況	平成23年度の進捗状況	平成24年度の進捗状況	担当部署
障害者の働く場の拡大	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動支援センター「むぎの花」の利用者が6名に拡大した。特に精神障害者の利用が増えている。 生ごみ収集区域8,000世帯のうち3,400世帯分の収集を委託した。また、沓掛堆肥センターにおける堆肥化業務の委託を開始した。 平成21年4月から市役所の職員食堂の営業を豊明福祉会に委託した。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊明市障がい者就職面接会を開催。ハローワーク・商工会・尾張東部障がい者就業・生活支援センター「アクト」との共催。13事業所、求職障害者39人の参加があり、就職に結びついた障がい者もあり、事業所への啓発にもつながった。 地域自立支援協議会の就労支援部会を設置。ハローワークや商工会、通所施設などと就労支援策の協議・連携を図った。 尾張東部障がい者就業・生活支援センター「アクト」との連携により障がい者の就労相談にあたっている。 社会福祉法人豊明福祉会に、生ごみ収集区域8,000世帯のうち3,400世帯分の収集運搬を委託した。また、沓掛堆肥センターにおける堆肥化業務を委託した。 継続。 	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害者通所授産施設「ハーミット」が就労継続支援B型に移行。また以下のとおりの体系移行予定もあり、就労支援に関する施設の充実がすすんだ。これにより、多様な働く場の拡大につながることを期待される。 地域活動支援センター「あびっと」 就労移行支援 地域活動支援センター「むぎの花」 就労継続支援A型との多機能型 就労継続支援B型へ 知的通所授産施設「メイツ」 生活介護と多機能型就労継続支援B型へ 豊明市障がい者相談支援センター「フィット」が尾張東部障がい者就業・生活支援センター「アクト」などの関係機関と連携して就労に関する相談もすすめている。 社会福祉法人豊明福祉会に、生ごみ収集区域8,000世帯のうち3,400世帯分の収集運搬を委託した。また、沓掛堆肥センターにおける堆肥化業務を委託した。 社会福祉法人豊明福祉会で製造したボカシを購入し、無料配布した。 社会福祉法人豊明福祉会に生ごみ専用袋の町内会への仕分け作業と配布を委託した。 継続。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動支援センター「あびっと」が4月に就労移行支援事業に移行。また「むぎの花」についても就労継続支援A型・B型（多機能型）事業所に移行。就労支援系の事業メニューが揃った。就労支援施設の充実がすすみ多様な働く場の拡大につながることを期待される。 地域自立支援協議会の就労支援部会を2回開催。市内の就労支援策の協議・連携を図った。 豊明市障がい者相談支援センター「フィット」が尾張東部障がい者就業・生活支援センター「アクト」などの関係機関と連携して就労に関する相談もすすめている。 社会福祉法人豊明福祉会に、生ごみ収集区域8,000世帯のうち4,400世帯分の収集運搬を委託した。また、沓掛堆肥センターにおける堆肥化業務を委託した。 社会福祉法人豊明福祉会で製造したボカシを購入し、無料配布した。 社会福祉法人豊明福祉会に生ごみ専用袋の町内会への仕分け作業と配布を委託した。 継続。 	<p>社会福祉課</p> <p>環境課</p> <p>総務防災課</p>
市役所での雇用の促進	<ul style="list-style-type: none"> 6月1日現在身体、知的障害者10名を継続的に雇用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 6月1日現在、身体・知的障害者10名を継続的に雇用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 6月1日現在、身体・知的障害者9名を継続的に雇用している。 平成23年度豊明市職員採用試験において、身体障がい者の募集を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 6月1日現在、身体・知的障害者10名を継続的に雇用している。 平成24年度豊明市職員採用試験において、身体障がい者の募集を行った。 	<p>秘書政策課</p>
障害者支援施設（就労継続）の充実	<ul style="list-style-type: none"> 市の総合福祉会館の一部を有効利用して、障害者の就労事業等に貸し出すことを検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> 市の総合福祉会館に新規に地域活動支援センター「こらほれ（あびっと）」が開設され、就労のための訓練を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害者通所授産施設「ハーミット」が就労継続支援B型に移行。また以下のとおりの体系移行予定もあり、支援施設の充実がすすんだ。 地域活動支援センター「あびっと」 就労移行支援 地域活動支援センター「むぎの花」 就労継続支援A型との多機能型 就労継続支援B型へ 知的通所授産施設「メイツ」 生活介護と多機能型就労継続支援B型へ 	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動支援センター「あびっと」が4月に就労移行支援事業に移行。また「むぎの花」についても就労継続支援A型・B型（多機能型）事業所に移行。知的通所授産施設「メイツ」は生活介護と多機能型就労継続支援B型へ移行。就労支援系の事業メニューが揃いさらなる施設の充実がすすんだ。 	<p>社会福祉課</p>

精神障害者小規模作業所の充実	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年4月から「ゆったり工房」は、日進市内の新施設（学生寮を改装）に移転しました。平成21年12月現在で登録者は23名。内豊明市からの利用は9名です。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ゆったり工房」「けやき作業所」「ハーミット」などに通所している。 	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害者通所授産施設「ハーミット」が就労継続支援B型に移行。名古屋市内の「けやき作業所」（精神障害者小規模作業所）などに通所している人もいます。 	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害者通所授産施設「ハーミット」が就労継続支援B型に移行。名古屋市内の「けやき作業所」（精神障害者小規模作業所）などに通所している人もいます。 	社会福祉課
移動支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 移動支援事業については、利用者も増えており、また、利用できる事業所も増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 国の制度改正にあわせ、非課税者の利用者負担を0円とした。市内事業所の増加や利用者負担の軽減などにより利用実績は伸びている。 	<ul style="list-style-type: none"> 移動支援事業については、利用者も増えており、また、利用できる事業所も増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 移動支援事業については、利用者も増えており、また、利用できる事業所も増えている。 	社会福祉課

6 情報提供やコミュニケーション支援を充実します

施策・事業名	平成21年度進捗状況	平成22年度進捗状況	平成23年度の進捗状況	平成24年度の進捗状況	担当部署
障害者地域生活支援相談窓口の設置	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業者の担当者による定期的な検討会は継続して実施しており、各事業者間の連携は非常にうまく機能している。 社会福祉協議会（地域福祉サービスセンター）として、平成20年度以上に対象者との接点（訪問や病院等）との関係づくりを強化した。 	<ul style="list-style-type: none"> 8月に豊明市障がい者相談支援センター「フィット」を開設。社会福祉課・社会福祉協議会（地域福祉サービスセンター）・豊明福祉会（地域生活支援センターファイン）の3拠点で実施してきた相談支援事業を総合福祉会館内に統一し、一括して実施することとなった。これにより、関係機関とのよりよい連携が図れるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊明市障がい者相談支援センター「フィット」における上半期の延べ相談件数が、昨年度に比べ31%増となり、関係機関とのよりよい連携のもと、障がい者の地域生活支援につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊明市障がい者相談支援センター「フィット」における上半期の延べ相談件数が、昨年度に比べ13%増となり、関係機関とのよりよい連携のもと、障がい者の地域生活支援につながっている。 	社会福祉課 社会福祉協議会
地域自立支援協議会の設置（新規）	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年7月に障害者地域自立支援協議会を設置し、同月27日に第1回協議会を開催した。平成22年3月に第2回協議会の開催を予定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本会議開催のほか、就労支援部会を5回開催。また、生活支援部会の準備会にあたる生活支援ネットワーク会議を4回開催。通所・居宅介護・訪問看護事業所の参加を得ており、今後、生活支援部会に発展する見込み。 	<ul style="list-style-type: none"> 本会議開催のほか、就労支援部会を開催。また法改正にともない相談支援体制を強化していく必要があるため、相談支援部会を設置することとした。 	<ul style="list-style-type: none"> 本会議開催のほか、就労支援部会を開催。また法改正にともない相談支援体制を強化していく必要があるため、相談支援部会を設置し、年度内に8回開催した。 	社会福祉課
窓口での情報提供（新規）	<ul style="list-style-type: none"> 障害者手帳の取得者や自立支援医療の適用者は年々増えていますが、窓口での説明については、丁寧に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 障害者手帳の取得者や自立支援医療の適用者は年々増えており、窓口での説明については、丁寧に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚障がい者支援ボランティアと社会福祉課との交流会の開催 目的 視覚障がい者支援ボランティアグループとの情報交換をし、活動を理解することで窓口での情報提供の具体化を図る。 日時 2月13日（金）10時～ 場所 市総合福祉会館 参加者 社会福祉課、ボランティア4グループ 	<ul style="list-style-type: none"> 障害者手帳の取得者や自立支援医療の適用者は年々増えており、窓口での説明については、丁寧に行っている。 	社会福祉課
障害児者生活情報（バリアフリーマップ）の提供（新規）	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの運用が難しく、その利用はほとんど無い状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの運用が難しく、その利用はほとんど無い状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの運用が難しく、その利用はほとんど無い状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの運用が難しく、その利用はほとんど無い状況である。 	社会福祉課
手話ボランティアの養成	<ul style="list-style-type: none"> 21年度は養成講座の開催を見送った。 	<ul style="list-style-type: none"> 養成講座の開催はなし。 平成22年度は入門編を実施し、26名が受講し、19名に修了証書を授与した。その中で7～8名がボランティアグループ“手話サークル ロード”へ加入した。 	<ul style="list-style-type: none"> 養成講座の開催はなし。 手話基礎講座 日時 9月～3月（全23回） 場所 市総合福祉会館 参加者 13名 講座終了後の到達目標は、相手の手話が理解でき聴覚障害者と手話で日常会話が可能レベル。 	<ul style="list-style-type: none"> 実施せず 	社会福祉課 社会福祉協議会

音訳ボランティアの養成	<ul style="list-style-type: none"> デジタル録音講座を実施し、パソコンを使用してのデジタル録音技術の習得をした。音訳ボランティアグループの5名が受講。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在、市内3名の弱視の方、盲人の方に、広報とともに配布される印刷物を「お知らせ版」として、デジタル録音(CD)したものを送っている。 市内在住の視覚障がいの方たちに向け、「広報」等をカセットテープから、徐々にデジタル録音(CD)に移行し、迅速で正確な情報提供ができるよう進みつつある状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> 実施せず 	<ul style="list-style-type: none"> 実施せず 	社会福祉協議会
点訳ボランティアの養成	<ul style="list-style-type: none"> 実施せず 	<ul style="list-style-type: none"> 実施せず 	<ul style="list-style-type: none"> はじめての点訳講座 目的 点字の知識・技能を習得し、点訳ボランティアを養成。 日時 9月～12月(全6回) 場所 市総合福祉会館 参加者 13名 講座終了後、7名がボランティアグループに加入し活動している。 	<ul style="list-style-type: none"> 実施せず 	社会福祉協議会
拡大教科書ボランティアの養成	<ul style="list-style-type: none"> 実施せず 	<ul style="list-style-type: none"> 実施せず 	<ul style="list-style-type: none"> 実施せず 	<ul style="list-style-type: none"> 拡大教科書製作講習会 日時 9月～11月(全5回) 場所 市総合福祉会館 参加者 12名 講座終了後、7名がボランティアグループ(豊明拡大写本たんぼぼ)に加入し活動している。 	社会福祉協議会

7 災害時などの安心・安全対策を進めます

施策・事業名	平成21年度進捗状況	平成22年度進捗状況	平成23年度の進捗状況	平成24年度の進捗状況	担当部署
災害時の障害者救援体制	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化 避難所である沓掛小、中央小、館小体育館の入り口を実施。 栄小と双峰小については、現在工事中（2月末完成予定） 同時に多目的トイレも整備 多目的トイレとは、車椅子に乗ったまま使用できる固定式トイレのこと。 （三崎小は、20年度整備済）車いす用トイレは、設置が移動できるトイレ。 ・車いす用トイレ設置 唐竹小、三崎小、館小に各1台配備し、避難所となる小中学校全校に1台の配備。 ・車いすを3台市防災倉庫に配備し、災害時の避難支援に使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化 避難所である栄中体育館の入り口を実施。同時に多目的トイレも整備。 ・災害時要援護者優先避難所として指定してある市内保育園（10園）とどんぐり学園について、平成27年度までの6ヵ年計画を作成し、車いす対応簡易トイレ（各園1基）、車いす（各園1台）、簡易ベッド（各園1基）、パーテーション（各園10基）、収納用倉庫（各園1基）を毎年度2園ずつ整備していく。 初年度については、栄と南部保育園に整備した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化 避難所である豊明中学校体育館の入り口の既設スロープに手すりをつけて整備した。同時に多目的トイレも整備した。 ・災害時要援護者優先避難所として指定してある市内保育園（東部保育園、内山保育園）の2か所に、車いす対応簡易トイレ、車いす、簡易ベッド、パーテーション、収納用倉庫等を整備した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化 避難所である大宮、唐竹、豊明小学校3か所の体育館入口にスロープと手すりを整備した。 ・災害時要援護者優先避難所として指定してある市内保育園（二村台保育園、沓掛保育園）の2か所に、車いす対応簡易トイレ、車いす、簡易ベッド、パーテーションを整備した。 	総務防災課
災害時の障害者支援（新規）	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度にも民生児童委員が訪問して、登録申請のPRをおこないましたが、大きな伸びはありませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別通知にて登録申請のPRを行ったことにより、新規の登録者が増加しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別通知にて登録申請のPRを行ったことにより、新規の登録者が増加しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はPRを実施せず。災害時要援護登録の障がい者はH25年2月現在で550名となっている。 	社会福祉課
災害時における事業所等との協力（新規）	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者更生援護施設「ゆたか苑」と避難所施設としての覚書について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者更生援護施設「ゆたか苑」と避難所施設としての覚書を締結した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに実施したことはなし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに実施したことはなし。 	社会福祉課
防火指導	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者1人世帯（半数世帯）の防火訪問を実施し、防火指導を行った。 また、今後の高齢者世帯の防火訪問等について検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者1人世帯（70歳以上の1人暮らし605世帯）の防火訪問を実施したが、障害者の防火訪問は未実施。 ・社会福祉法人（豊明福祉会）メイツ・ファイン・フレンズが実施する、消防訓練で防火指導を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者二世帯（二人とも70歳以上約600世帯）の防火訪問を実施したが、障害者の防火訪問は未実施。 ・社会福祉法人（豊明福祉会）メイツ・ファイン・フレンズが実施する、消防訓練で防火指導を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者1人世帯（80歳以上の1人暮らし世帯約400世帯）の防火訪問を実施中。障がい者宅の防火訪問は未実施。 ・豊明福祉会などが運営する障がい者福祉施設やグループホームの防火査察を実施した。 	消防総務課